



これは令和 8 年度（2026 年度）入学者選抜に係る資料です。

令和 8 年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

令和 6 年 3 月 26 日更新

令和 6 年 7 月 12 日更新

横 浜 国 立 大 学

このことについて、次のとおり変更します。

令和 6 年 7 月 12 日付で変更内容を新たに追加しました。（青字箇所：教育学部一般選抜、経営学部一般選抜、都市科学部一般選抜、教育学部総合型選抜、理工学部総合型選抜、都市科学部総合型選抜、教育学部学校推薦型選抜、教育学部帰国生徒選抜、経営学部社会人選抜）

1. YNU Program for Socially Resilient and Sustainable Ecosystems (YOKOHAMA Socrates Program)（詳細は 3 ページ参照）

国際的に認知された教育プログラムを受けた者および日本留学を目指す者を幅広く受入れるため、出願要件、出願書類、選抜方法の一部を変更します。

2. 一般選抜

教育学部 学校教員養成課程 芸術・身体・発達支援系教育コース 保健体育専門領域（詳細は 7 ページ参照）

前期日程の個別学力検査等教科・科目名等における実技検査の表現を変更します。

経営学部 経営学科 DSEP（詳細は 8 ページ参照）

前期日程及び後期日程の募集人員を変更します。

都市科学部 都市社会共生学科（詳細は 8 ページ参照）

後期日程の募集人員を変更します。

3. 総合型選抜

教育学部 学校教員養成課程（詳細は 9 ページ参照）

学校推薦型選抜を廃止し、募集人員を総合型選抜に統合します。また、「地域教員希望枠」を設定します。これらに伴い、出願要件及び選抜方法も変更します。

理工学部 機械・材料・海洋系学科 海洋空間のシステムデザイン EP（詳細は 12 ページ参照）

選抜方法【最終合格者決定】において課している大学入学共通テストの教科・科目について、理科「物理」を追加し、それに併せて配点も変更します。

これは令和 8 年度（2026 年度）入学者選抜に係る資料です。

都市科学部 都市社会共生学科（詳細は 13 ページ参照）

募集人員を変更します。また、選抜方法【第 1 次選抜】に自己推薦書及び課題作文を追加し、【第 2 次選抜】において課している文章実技試験を廃止します。

4. 学校推薦型選抜

教育学部 学校教員養成課程（詳細は 15 ページ参照）

募集を廃止します。

5. 帰国生徒選抜

教育学部 学校教員養成課程（詳細は 15 ページ参照）

募集を廃止します。

6. 社会人選抜

経営学部 経営学科（詳細は 15 ページ参照）

募集を廃止します。

これは令和8年度（2026年度）入学者選抜に係る資料です。

令和8年度入学者選抜における学力検査実施教科・科目、選抜方法等について

学部名： 都市科学部 YOKOHAMA Socrates Program

	変更前(令和6(2024)年度)	変更後(令和8(2026)年度)
募集人員	【変更なし】	
出願資格 および 出願要件	<p>出願要件は、次の(1)～(4)のいずれかに該当し、かつ、(5)～(7)のすべてを満たす者となります。</p> <p>(1) 外国の教育機関における学校教育*を受けた期間が通算3年以上である者のうち、国内外を問わず、修了により当該学校等が所在する国の大学への受験資格を得ることのできる12年の学校教育課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>* 「外国の教育機関における学校教育」とは、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、原則として、地理的に外国にあることを指します。インターナショナルスクールやアメリカンスクールなどの学校からの出願者（出願要件(3)または(4)を満たす者を除く）は、出願要件の確認に時間がかかることがありますので、出願開始日の3週間前までにご相談ください。地理的に外国であっても、日本の学校教育法に基づく教育課程を有する学校での在籍期間は、外国の教育機関における学校教育を受けた期間には算入されません。</p> <p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの*</p> <p>* 「(1)に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」については出願開始日の3週間前までに照会してください。</p> <p>(3) 外国において次の資格のいずれかを授与された者</p> <p>a) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>d) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）[3科目以上合格（評価E以上）していること]</p> <p>(4) 国内外を問わず文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、</p>	<p>●出願資格 次の(1)～(4)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 外国の教育機関における学校教育*を受けた期間が通算3年以上である者のうち、国内外を問わず、修了により当該学校等が所在する国の大学への受験資格を得ることのできる12年の学校教育課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>* 「外国の教育機関における学校教育」とは、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、原則として、地理的に外国にあることを指します。インターナショナルスクールやアメリカンスクールなどの学校からの出願者（出願資格(3)または(4)を満たす者を除く）は、出願資格の確認に時間がかかることがありますので、出願開始日の3週間前までにご相談ください。地理的に外国であっても、日本の学校教育法に基づく教育課程を有する学校での在籍期間は、外国の教育機関における学校教育を受けた期間には算入されません。</p> <p>(2) (1)に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの*</p> <p>* 「(1)に準ずる者で文部科学大臣の指定したもの」については出願開始日の3週間前までに照会してください。</p> <p>(3) 外国において次の資格のいずれかを授与された者</p> <p>a) スイス民法に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格</p> <p>b) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>c) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>d) グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル資格）[3科目以上合格（評価E以上）していること]</p> <p>(4) 国内外を問わず文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、</p>

これは令和8年度(2026年度)入学者選抜に係る資料です。

<p>NEASC、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び2024年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(5) SAT(Reading and Writing, Math)または ACT(English, Math, Reading, Science)を受験し、出願期間内に成績証明書を提出できる者*</p> <p>* 上記については、2018年9月1日以降に受験した試験のスコアのみ受け付けます。</p> <p>(6) 出願期間内に a)~g)のいずれかの成績証明書を提出できる者*</p> <p>a) TOEFL iBT (Home Edition およびペーパー版テスト(Paper Edition)を含む): 80以上(Test Date スコアを採用し、My Best Score は利用しない。)</p> <p>b) IELTS (Academic Module)(オンライン版を含む): オーバーオール・バンド・スコア:6.0以上</p> <p>c) 国際バカロレア(English A の場合、HL:5 又は SL:5 以上、English B の場合、HL:5 又は SL:6 以上)</p> <p>d) Malaysian University English Test(MUET) バンド4以上</p> <p>e) 中国全国公共英語等級考試:Public English Test System 5 級 (PETS5)</p> <p>f) 英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上、又は通算6年以上在籍したこと</p> <p>g) 上記と同等以上の英語能力を有すること(出願前に必ず相談すること)</p> <p>* 上記については、2021年9月1日以降に受験した試験のスコアのみ受け付けます。</p> <p>(7) 外国籍の者は、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、若しくは取得できる者</p> <p>注: 本学他学部また都市科学部の総合型選抜、帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)、YGEP(渡日入試・渡日前入試)との併願は認めません。</p>	<p>NEASC、CIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>●出願要件 次の(1)~(2)のすべてを満たす者</p> <p>(1) 出願期間内に a)~g)のいずれかの成績証明書を提出できる者*</p> <p>a) TOEFL iBT (Home Edition およびペーパー版テスト(Paper Edition)を含む): 80以上(Test Date スコアを採用し、My Best Score は利用しない。)</p> <p>b) IELTS (Academic Module)(オンライン版を含む): オーバーオール・バンド・スコア:6.0以上</p> <p>c) 国際バカロレア(English A の場合、HL:5 又は SL:5 以上、English B の場合、HL:5 又は SL:6 以上)</p> <p>d) Malaysian University English Test(MUET) バンド4以上</p> <p>e) 中国全国公共英語等級考試:Public English Test System 5 級 (PETS5)</p> <p>f) 英語による教育課程に修了年次を含め連続して4年以上、又は通算6年以上在籍したこと</p> <p>g) 上記と同等以上の英語能力を有すること(出願前に必ず相談すること)</p> <p>* 上記については、2023年9月1日以降に受験した試験のスコアのみ受け付けます。</p> <p>(2) 外国籍の者は、出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者、若しくは取得できる者</p> <p>注: 本学他学部また都市科学部の総合型選抜、帰国生徒選抜(外国学校出身者選抜を含む)、YGEP(渡日入試・渡日前入試)との併願は認めません。</p>
<p>出願書類</p> <p>(1) 入学願書</p> <p>(2) 出身高等学校の卒業(修了)証明書等の写し 日本の高等学校に相当する出身高等学校の卒業(修了)証明書等について、出願要件に基づき、以下の書類を提出してください。</p> <p>(i) 出願要件(1)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出身高等学校又は最終出身学校の卒業(修了)証明書 ・出願時に卒業(修了)見込みである場合は、出身学校長名で発行された卒業(修了)見込み証明書 	<p>(1) 入学願書</p> <p>(2) 出身高等学校の卒業(修了)証明書等の写し 日本の高等学校に相当する出身高等学校の卒業(修了)証明書等について、出願資格に基づき、以下の書類を提出してください。</p> <p>(i) 出願資格(1)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校(日本の高等学校に相当する課程をいう)の卒業(修了)証明書 ・出願時に卒業(修了)見込みである場合は、出身学校長名で発行された卒業(修了)見込み証明書

これは令和8年度（2026年度）入学者選抜に係る資料です。

<p>(ii) 出願要件(2)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身学校の卒業(修了)証明書。出願時に卒業(修了)見込みである場合は、出身学校長名で発行された卒業(修了)見込み証明書 ・高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者は、その合格成績証明書の写しあるいは公的認証を受けた証書の写し <p>(iii) 出願要件(3)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)及び最終6科目・TOK、EEの成績評価証明書の写し ・一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の写し ・バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Secondaire)及び成績評価証明書(Relevé de Notes)の写し ・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)試験の成績証明書(3科目以上合格(評価E以上)していること)の写し <p>(iv) 出願要件(4)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終出身学校の卒業(修了)証明書 ・出願時に卒業(修了)見込みである場合は、出身学校長名で発行された卒業(修了)見込み証明書 ・最終出身学校がWASC、CIS、ACSI、NEASCのいずれかにより認定を受けていることを証明する書類 <p>(3) 外国の教育制度に基づいて外国に設置された初等・中等教育機関に3年以上在籍したことを証明するもの(出願要件(1)または(2)を満たす者のみ)</p> <p>(4) 出身高等学校又は最終出身学校の成績証明書</p> <p>(5) SAT(Reading and Writing, Math)または ACT(English, Math, Reading, Science)のスコア</p>	<p>(ii) 出願資格(2)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出願資格照会時に必要な書類を個別に指示します。 <p>(iii) 出願資格(3)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア資格証書(International Baccalaureate Diploma)及び最終6科目・TOK、EEの成績評価証明書の写し ・一般的大学入学資格証明書(Zeugnis der allgemeinen Hochschulreife)の写し ・バカロレア資格証書(Diplôme du Baccalauréat de l'Enseignement du Secondaire)及び成績評価証明書(Relevé de Notes)の写し ・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(GCEAレベル資格)試験の成績証明書(3科目以上合格(評価E以上)していること)の写し <p>(iv) 出願資格(4)に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該教育施設の卒業(修了)証明書 ・出願時に卒業(修了)見込みである場合は、当該教育施設長名で発行された卒業(修了)見込み証明書 ・当該教育施設がWASC、CIS、ACSI、NEASCのいずれかにより認定を受けていることを証明する書類 <p>(3) 外国の教育制度に基づいて外国に設置された初等・中等教育機関に3年以上在籍したことを証明するもの(出願資格(1)または(2)を満たす者のみ)</p> <p>(4) 高等学校(日本の高等学校に相当する課程をいう)の成績証明書 *在籍したすべての学校の成績証明書を提出してください。</p> <p>(5) 国際標準テストの成績証明書【任意】</p> <p>a)~e)のいずれかの成績を提出することを強く推奨します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) SAT(Reading and Writing, Math) b) ACT(English, Math, Reading, Science) c) 国際バカロレア資格(ディプロマのみ) d) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(3科目以上合格(評価E以上)) e) 日本留学試験(総合科目および数学(コース1またはコース2)を含むこと)
---	---

これは令和8年度（2026年度）入学者選抜に係る資料です。

	<p>(6) 英語能力証明書 (7) 自己推薦書 (8) パスポートおよび在留カードの写し(在留カードの写しは日本国内に居住している外国籍の者のみ) (9) 入学検定料支払い(払い込み)領収書等の写し</p>	<p>* a)および b)については、2021年9月1日以降に受験した試験のスコアのみ受け付けます。 * c)および d)については、2021年以降に取得した成績のみ受け付けます。 * e)については、2023年11月、2024年6月および11月、2025年6月試験の成績のみ受け付けます。</p> <p>(6) 英語能力証明書 (7) 自己推薦書およびエッセイ (8) パスポートおよび在留カードの写し(在留カードの写しは日本国内に居住している外国籍の者のみ) (9) 入学検定料支払い(払い込み)領収書等の写し</p>
<p>選抜方法</p>	<p><u>第一次選抜:</u> 入学者の選抜は、以下の提出書類を総合的に評価して行います。 (1) 自己推薦書 (2) エッセイ (3) SAT(Reading and Writing, Math)または ACT(English, Math, Reading, Science)のスコア (4) 英語能力証明</p> <p><u>第二次選抜:</u> 提出書類とオンライン面接</p>	<p><u>第一次選抜:</u> 入学者の選抜は、以下の提出書類を総合的に評価して行います。 (1) 自己推薦書 (2) エッセイ (3) 高等学校(日本の高等学校に相当する課程をいう)の成績 (4) 国際標準テストの成績 ・提出があった場合には、国際標準テストの成績に応じて、総合得点の10%を上限として加点します。 ・複数の提出があった場合には、もっとも得点が高くなる国際標準テストの成績を採点対象とします。</p> <p>a) SAT(Reading and Writing, Math) b) ACT(English, Math, Reading, Science) c) 国際バカロレア資格(ディプロマのみ) d) ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格(3科目以上合格(評価E以上)) e) 日本留学試験(総合科目および数学(コース1またはコース2)を含むこと)</p> <p><u>第二次選抜:</u> 提出書類とオンラインによる口頭試問(プレゼンテーションを含む。基礎学力、エッセイのテーマに対する基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います)</p>

これは令和 8 年度（2026 年度）入学者選抜に係る資料です。

令和 8 年度横浜国立大学入学者選抜における変更について(予告)

学部名： 教育学部 一般選抜

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人数)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等	
7 年度	8 年度	7 年度	8 年度	7 年度	8 年度	7 年度	8 年度
学校教員養成 課程 (200 名)	学校教員養成 課程 (200 名) (変更なし)	前期日程 (100 名)	前期日程 (100 名) (変更なし)		(変更なし)	実技検査 体育 次の実技検査を課す。 次の 5 種目から 4 種目を 選択して実技を行い、基礎 的な運動能力と技能を総 合的に評価する。 ①器械運動 ②陸上運動 ③表現運動 ④ボール運動 ⑤柔道	実技検査 体育 次の実技検査を課す。 次の 5 領域から 4 領域を 選択すること。各領域を構 成する種目の実技検査を 行い、基礎的な運動能力と 技能を総合的に評価する。 ①器械運動 ②陸上競技 ③ダンス ④球技 ⑤武道

これは令和8年度（2026年度）入学者選抜に係る資料です。

令和8年度横浜国立大学入学者選抜における変更について(予告)

学部名： 経営学部 一般選抜

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人数)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等	
7年度	8年度	7年度	8年度	7年度	8年度	7年度	8年度
経営学科 (155名)	経営学科 (155名) (変更なし)	前期日程 DSEP (7名)	前期日程 DSEP (10名)		(変更なし)		(変更なし)
経営学科 (81名)	経営学科 (81名) (変更なし)	後期日程 DSEP (3名)	後期日程 DSEP (4名)		(変更なし)		(変更なし)

令和8年度横浜国立大学入学者選抜における変更について(予告)

学部名： 都市科学部 一般選抜

学科・課程等名 (入学定員)		選抜方法 (募集人数)		大学入学共通テストの 利用教科・科目名		個別学力検査等 教科・科目名等	
7年度	8年度	7年度	8年度	7年度	8年度	7年度	8年度
都市社会共生 学科 (74名)	都市社会共生 学科 (74名) (変更なし)	後期日程 (10名)	後期日程 (8名)		(変更なし)		(変更なし)

1. 総合型選抜

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程								
	変更前（令和7年度）				変更後（令和8年度以降）				
募集人員	25名 (内訳)				100名 (内訳)				
	コース	専門領域	専門領域枠	領域指定なし	コース	専門領域	専門領域枠	地域教員希望枠	
	言語・文化・社会系教育コース	国語		3名	18名	言語・文化・社会系教育コース	国語	4名	36名
		社会					4名		
		英語					4名		
日本語教育			3名						
教育学			4名						
自然・生活系教育コース	数学		4名	18名	自然・生活系教育コース	数学	4名	36名	
	理科					4名			
	技術					6名			
	家庭科					6名			
芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽			18名	芸術・身体・発達支援系教育コース	音楽	4名	36名	
	美術					6名			
	保健体育					4名			
	心理学					5名			
特別支援教育					特別支援教育	6名			
合計		25名		合計		64名	36名		
	<p>注1：「芸術・身体・発達支援系教育コース」の特別支援教育専門領域には、総合型選抜での募集はありません。</p> <p>注2：「専門領域枠（英語）」、「専門領域枠（理科）」及び「領域指定なし」の併願はできません。</p> <p>注3：「専門領域枠」の合格者として入学した者は、入学後にコース・専門領域を変更することはできません。「領域指定なし」の合格者として入学した者は、入学後第1学年の10月頃までに、コース・専門領域を決定します。この決定は、本人の希望及び入学後の学修状況をもとに行います。ただし、特定のコース・専門領域を多数の者が希望した時には、選考試験を行います。</p>				<p>注1：「地域教員希望枠」と「専門領域枠」の併願は可能です。併願する場合は、それぞれについての入学検定料が必要になります。</p> <p>注2：「専門領域枠」で出願できる専門領域は1つに限ります。</p> <p>注3：「地域教員希望枠」で合格した者は「専門領域枠」の合否対象から除外します。</p> <p>注4：選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続者数が募集人員に満たなかった場合には、一般選抜前期日程の合格者で補充します。</p>				
出願要件	<p>【基礎資格】</p> <p>(1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年（2025年）3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年（2025年）3月までに修了見込みの者</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条第1号から第5号の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年（2025年）3月31日までにこれらに該当する見込みの者</p> <p>これらに該当する者とは次のとおり</p> <p>①外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの</p> <p>②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年（2025年）3月31日までに修了見込みの者</p> <p>③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和7年（2025年）3月31日までに修了見込みの者</p> <p>④文部科学大臣の指定した者</p> <p>⑤高等学校卒業認定試験規則による高等学校卒業認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和7年（2025年）3月31日までに合格見込みの者で令和7年（2025年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(4) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で令和7年（2025年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>【要件】</p> <p>1. 小学校教員になろうとする強い意欲を有し、合格した場合は入学することを確約できる者</p> <p>2. 英語専門領域の志願者にあつては、以下の外部試験（ア）～（オ）のいずれか1つについて、出願時前2年以内のスコア証明書又は合格証明書の原本を提出できる者。（ア）英検〔従来型、S-CBT〕、（イ）TOEFL〔iBT（Home Edition）及びペーパー版テスト（Paper Edition）を含む〕、ITP（団体向けテストプログラム）、（ウ）</p>				<p>【基礎資格】</p> <p>(1) 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和8年（2026年）3月に卒業見込みの者</p> <p>(2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和8年（2026年）3月に卒業（修了）見込みの者または卒業（修了）した者</p> <p>【要件】</p> <p>共通：次の（1）～（4）を全て満たす者</p> <p>(1) 児童・生徒の育成に熱意を持つ者</p> <p>(2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者</p> <p>(3) 合格した場合には、本学に入学することを確約できる者</p> <p>(4) 小・中・特別支援学校等の教員就職を希望する者</p> <p>地域教員希望枠のみ：</p> <p>(1)～(4)を全て満たし、かつ、次の（5）及び（6）を満たす者</p> <p>(5) 神奈川県内の教員就職を希望する者（出身地は問わない）</p> <p>(6) 本学教育学部の開講する「YNU 教職セミナー」（教育学部開講の旧高校生授業等体験プログラムおよび旧公開講座を含む）、または神奈川県内の教育委員会が開講する「教職セミナー」等に参加し、受講したことを証明する書類を提出できる者、あるいは、神奈川県内の高等学校における「教職コース」を履修し、単位を修得した者</p> <p>専門領域枠のみ：</p> <p>(1)～(4)を全て満たし、かつ、次の（7）を満たす者</p> <p>(7) 全国の教員養成系大学・学部や教育委員会が開講する「教職セミナー」等に参加し、受講したことを証明する書類を提出できる者、あるいは、全国の高等学校における「教職コース」を履修し、単位を修得した者</p>				

	<p>TOEIC [公開テスト、IP (団体特別受験制度)]、(エ) IELTS (Academic Module) ※IELTS Online を含む、(オ) GTEC (4技能)。また、英語に関する学校内外での活動 (海外研修・英語ディベート入賞など) 経験がある場合はその証明書 (様式任意、学校長の押印が必要) を提出すること。</p>	<p>さらに、以下の各専門領域の志願者は次の (8) も満たすこと。</p> <p>(8) 専門領域が求める以下の提出書類等の要件を満たす者</p> <p>英語専門領域： 出願時前2年以内の外部試験の合格証明書又はスコア証明書の原本を提出できる者。 出願時前2年以内の外部試験の合格証明書又はスコア証明書の原本1部とコピー1部 [英検 (従来型、S-CBT)、TOEFL {iBT (Home Edition およびペーパー版テスト (Paper Edition) を含む)、ITP (団体向けテストプログラム)}、TOEIC {公開テスト、IP (団体特別受験制度)}、IELTS (Academic Module) ※IELTS Online を含む、GTEC (4技能) のいずれか1つ。]</p> <p>美術専門領域： 本人が高等学校等在学中に授業等で制作した美術作品、又は、本人が企画運営等を行った美術活動等に関する以下の資料のいずれか1点以上を、出願時に提出できる者。 a. 活動証明書 (学校長、記載責任者の押印が必要) b. 志願者本人の①②いずれかを含む美術活動を収めたファイル一冊。 ①高等学校等在学中に制作した美術作品 (授業作品も可) 3点以上を写真撮影し、プリントしたもの。写真はA4判以内とし見やすいもの。 ②本人が企画運営等行った美術活動に関する資料。</p> <p>保健体育専門領域： スポーツ、武道、ダンスで成果を上げた者。なお、都道府県大会以上の大会に出場した経験のある者は、それを証明する資料のコピーを提出すること。</p> <p>(9) その他提出書類 (出願要件ではありません)</p> <p>英語専門領域： 英語に関する学校内外での活動 (海外研修・英語ディベート入賞等) 経験のある者は、その証明書 (様式任意、学校長の押印が必要) を提出すること。</p> <p>家庭科専門領域： 高校時代にホームプロジェクトや家庭科に関連する研究に取り組んだ者は、その内容がわかる資料 (様式任意、字数制限なし) を提出すること。家庭科に関連する資格を取得している者は、それを証明するものを提出すること。</p>
<p>選抜方法</p>	<p>【第1次選抜】 自己推薦書、調査書、課題レポートの評価と併せて、小論文試験を課して、それらの結果を総合的に判断して第1次選抜合格者を決定します。小論文試験は、小学校の授業に関連する課題の論述を行います。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、提出書類の内容をもとに、複数の面接員による個人面接を行います。個人面接では、その場で与えられた課題に対するプレゼンテーションを行います。また、自己推薦書、課題レポートや児童・生徒とふれあう継続的な体験活動や教職に関連する学習活動等について説明していただいた後、教育の今日的課題等の質問に答えていただきます。 小学校教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価し、第2次選抜合格者を決定します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、大学入学共通テストの成績により選抜を行います。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。入学手続者数が募集人員に満たなかった場合には、一般選抜前期日程の合格者で補充します。</p>	<p>【第1次選抜】 出願書類の審査、高大接続活動に関する評価、および小論文試験により総合的に評価して、第1次選抜合格者を決定します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対し、提出書類の内容をもとに複数の面接員による個人面接を行います。音楽専門領域のみ、聴音 [2声の書き取り (大譜表、8小節程度)] の実技検査を行います。小・中・特別支援学校等の教員を志す者として、教育に対する情熱やコミュニケーション能力を有するかを総合的に評価し、最終合格者を決定します。</p> <p>専門領域枠のうち、次の専門領域の志願者は、面接において以下の点に留意すること。</p> <p>社会専門領域： 指定文献に関する内容について質疑を追加して行う。</p> <p>英語専門領域： 面接の一部を英語で行う。</p> <p>数学専門領域： 子供たちが学ぶ算数・数学に関する事項についての質疑を追加して行う。</p>

【最終合格者決定】

本選抜では、大学入学共通テストは課しません。個別学力検査も行いません。
第2次選抜合格者が最終合格者となります。

(大学入学共通テストの教科・科目)

国語	「国語」	}	から1又は2	}	地理歴史・公民から 2科目の場合、 理科は(a)又は(b)
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、 「歴史総合、世界史探究」				
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	}	(a)～(d)の いずれか	}	地理歴史・公民から 1科目の場合、 理科は(c)又は(d)
理科	(a)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 (b)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (c)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2 及び「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1 (d)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2				
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」				
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1				
情報	「情報Ⅰ」				

地理歴史・公民から1科目の場合〔6教科8科目〕又は〔6教科9科目〕
地理歴史・公民から2科目の場合〔6教科8科目〕又は〔6教科9科目〕
又は〔7教科8科目〕又は〔7教科9科目〕

- 注1：「公民」の科目を選択する場合、「公共、倫理」及び「公共、政治・経済」の2科目を選択することはできません。
- 注2：「理科」で(c)を選択する場合、同一名称を付した科目（例：「物理基礎」と「物理」など）の選択を認めます。
- 注3：「地理歴史」・「公民」から2科目、「理科」で(c)又は(d)を選択して受験した場合は、まず「地理歴史」・「公民」の第1解答科目の得点と「理科」の第1解答科目の得点を採用し、残りの1科目は「地理歴史」・「公民」及び「理科」の第2解答科目のうち得点の高い科目の得点を合否判定に用います。
- 注4：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	200 (100)	200	100 (200)	200	100	1000

- 注5：「地理歴史」・「公民」及び「理科」の配点において、「地理歴史」・「公民」の得点に採用された科目が1科目の場合は（ ）内の配点で計算します。
- 注6：「外国語」の「英語」を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。
- 200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4
- なお、「英語」を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

実施学部 学科名等	理工学部 機械・材料・海洋系学科 海洋空間のシステムデザイン教育プログラム																																															
	変更前（令和7年度）	変更後（令和8年度以降）																																														
募集人員	【変更なし】																																															
出願要件	【変更なし】																																															
選抜方法	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。 1. 自己推薦書（本学様式） 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。 2. 調査書等 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験（口頭試問による学力検査（数学・物理及びそれらに関する総合的な能力の検査））を課します。 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムのウェブサイトにて、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学共通テストの教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>（大学入学共通テストの教科・科目）</p> <table border="1"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[3教科・4科目]</p> <p>注1：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）</p> <p>（大学入学共通テストの配点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>注2：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。</p> <p>200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4</p> <p>なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。</p>	国語	「国語」	数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B、数学C」	外国語	「英語」	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	—	200	—	200	—	600	<p>【第1次選抜】 書類審査とします。以下の書類により、海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの熱意と適性の評価を行います。 1. 自己推薦書（本学様式） 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムに対する熱意を1,000字程度で自己推薦してください。図表を入れても結構ですが字数に含みません。文字・図表は手書きが条件です。 2. 調査書等 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムへの適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書による適性及び能力を判断するために、面接試験（口頭試問による学力検査（数学・物理及びそれらに関する総合的な能力の検査））を課します。 海洋空間のシステムデザイン教育プログラムのウェブサイトにて、過去の出題例を公開していますので、参考にしてください。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、下記の大学入学共通テストの教科・科目を課し、大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>（大学入学共通テストの教科・科目）</p> <table border="1"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>「物理」</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">[4教科・5科目]</p> <p>注1：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）</p> <p>（大学入学共通テストの配点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地理歴史・公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>情報</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>200</td> <td>100</td> <td>200</td> <td>—</td> <td>700</td> </tr> </tbody> </table> <p>注2：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。</p> <p>200点満点 リーディング100点×1.6+リスニング100点×0.4</p> <p>なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。</p>	国語	「国語」	数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」	理科	「物理」	外国語	「英語」	教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計	配点	200	—	200	100	200	—	700
国語	「国語」																																															
数学	「数学Ⅰ・数学A」と 「数学Ⅱ・数学B、数学C」																																															
外国語	「英語」																																															
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計																																									
配点	200	—	200	—	200	—	600																																									
国語	「国語」																																															
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																															
理科	「物理」																																															
外国語	「英語」																																															
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計																																									
配点	200	—	200	100	200	—	700																																									

実施学部 学科名等	都市科学部 都市社会共生学科																																							
	変更前（令和7年度）	変更後（令和8年度以降）																																						
募集人員	26名	28名																																						
出願要件	【変更なし】																																							
選抜方法	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。 1. 特色活動説明書及び学習計画書 ・特色活動説明書（本学様式）： これまで自分がおこなってきた特色ある活動について、その内容と意義や魅力を、600字程度で具体的に説明してください。文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 ・学習計画書（本学様式）：以下の点について、600字程度で記述してください。 ①都市・社会・文化の領域で特に興味を持っていることは何か ②その関心を大学でどのように深め、社会や世界でどのように活かしていきたいか 文書は手書きが条件です。図や写真を入れても結構ですが字数に含みません。図や写真には簡潔な説明を付けてください。 2. 調査書等：都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、文章実技＋面接試験による選抜を行う。文化的・社会的現象に関するテーマについての基本的な理解、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。 注：文章実技では、文化的・社会的現象に関する600字程度の作文を当日に課し、口頭試問では志望動機や学習計画と合わせて作文内容についても質疑を行います。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>（大学入学共通テストの教科・科目）</p> <table border="1" data-bbox="311 1249 1528 1617"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」</td> <td rowspan="4">} (a)～(d)のいずれか</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">理科</td> <td>(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2</td> </tr> <tr> <td>(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>(d)「情報Ⅰ」</td> </tr> </table> <p>(a)の場合 [4教科5科目] (c)(d)の場合 [5教科5科目] (b)の場合 [5教科6科目]</p> <p>注1：「地理歴史」・「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2：「国語」、「地理歴史」・「公民」、「外国語」、「数学（「数学Ⅰ、数学A」）」の得点に加え、「数学（「数学Ⅱ、数学B、数学C」）」、「理科」、「情報」の中で受験した科目のうち、最も得点の高い科目の得点を合計して合否判定に用います。「理科」を2科目受験した者は第1解答科目の得点を「理科」の得点とします。 注3：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から1	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	数学	「数学Ⅰ、数学A」	} (a)～(d)のいずれか	理科	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	情報	(d)「情報Ⅰ」	<p>【第1次選抜】 以下の書類による選抜を行います。 1. 自己推薦書及び課題作文 ・自己推薦書（本学様式）： 都市社会共生学科を志望する動機、および本学科の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）を踏まえて、これまでの自身の学習等の活動の成果や関心を持つ問題等に触れながら、600字程度で自己推薦してください。図表・図案を入れても結構ですが、字数に含みません。文字・図表・図案は手書きが条件です。 ・課題作文： 別に提示する課題に従って1000字程度の課題作文を書いて提出してください。課題作文は人文学・社会科学に関連する分野での発想力、論理的思考力及び表現力を問う内容で行います。なお、課題文として日本語の文章のほか、英語の文章を提示する場合があります。 2. 調査書等：都市社会共生学科への適性を判断するために使用します。</p> <p>【第2次選抜】 第1次選抜合格者に対して、自己推薦書と課題作文による適性及び能力を判断するために、面接試験〔口頭試問による学力検査(国語・社会・外国語及び発想力・論理的思考力・表現力などの総合的な能力の検査)〕を課します。</p> <p>【最終合格者決定】 第2次選抜合格者に対し、以下の大学入学共通テストの試験教科・科目を課し、第2次選抜の成績及び大学入学共通テストの結果により、最終的な合格者を決定します。選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。</p> <p>（大学入学共通テストの教科・科目）</p> <table border="1" data-bbox="1573 1249 2789 1617"> <tr> <td>国語</td> <td>「国語」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>「公共、倫理」、「公共、政治・経済」</td> <td rowspan="2">} から1</td> </tr> <tr> <td>外国語</td> <td>「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>「数学Ⅰ、数学A」</td> <td rowspan="4">} (a)～(d)のいずれか</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">理科</td> <td>(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」</td> </tr> <tr> <td>(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2</td> </tr> <tr> <td>(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>(d)「情報Ⅰ」</td> </tr> </table> <p>(a)の場合 [4教科5科目] (c)(d)の場合 [5教科5科目] (b)の場合 [5教科6科目]</p> <p>注1：「地理歴史」・「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。 注2：「国語」、「地理歴史」・「公民」、「外国語」、「数学（「数学Ⅰ、数学A」）」の得点に加え、「数学（「数学Ⅱ、数学B、数学C」）」、「理科」、「情報」の中で受験した科目のうち、最も得点の高い科目の得点を合計して合否判定に用います。「理科」を2科目受験した者は第1解答科目の得点を「理科」の得点とします。 注3：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）</p>	国語	「国語」	} から1	地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」	公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から1	外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」	数学	「数学Ⅰ、数学A」	} (a)～(d)のいずれか	理科	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1	情報	(d)「情報Ⅰ」
国語	「国語」	} から1																																						
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」																																							
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から1																																						
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」																																							
数学	「数学Ⅰ、数学A」	} (a)～(d)のいずれか																																						
理科	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																							
	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2																																							
	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1																																							
情報	(d)「情報Ⅰ」																																							
国語	「国語」	} から1																																						
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」																																							
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」	} から1																																						
外国語	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」																																							
数学	「数学Ⅰ、数学A」	} (a)～(d)のいずれか																																						
理科	(a)「数学Ⅱ、数学B、数学C」																																							
	(b)「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」から2																																							
	(c)「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から1																																							
情報	(d)「情報Ⅰ」																																							

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	100	—	200	—	700
	—	—	*100	*100	—	*100	
合計	200	100	100 (200)	<100>	200	[100]	700

注4：配点に*印を付してある得点は選択教科を表します。

注5：大学入学共通テスト「数学」が2科目採用された場合には（ ）内の配点、「理科」が採用された場合には〈 〉内の配点、「情報」が採用された場合には〔 〕内の配点で計算します。

注6：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

(大学入学共通テストの配点)

教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	100	—	200	—	700
	—	—	*100	*100	—	*100	
合計	200	100	100 (200)	<100>	200	[100]	700

注4：配点に*印を付してある得点は選択教科を表します。

注5：大学入学共通テスト「数学」が2科目採用された場合には（ ）内の配点、「理科」が採用された場合には〈 〉内の配点、「情報」が採用された場合には〔 〕内の配点で計算します。

注6：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。

これは令和8年度（2026年度）入学者選抜に係る資料です。

2. 学校推薦型選抜

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程	
	変更前（令和7年度）	変更後（令和8年度以降）
募集人員	75名	【募集停止】

3. 帰国生徒選抜

実施学部 学科名等	教育学部 学校教員養成課程	
	変更前（令和7年度）	変更後（令和8年度以降）
募集人員	若干名	【募集停止】

4. 社会人選抜

実施学部 学科名等	経営学部 経営学科 社会人教育プログラム	
	変更前（令和7年度）	変更後（令和8年度以降）
募集人員	4名	【募集停止】